

当院を受診される際は、診察カードをご持参ください（お問い合わせの際にもお手元にご用意ください）。

いわゆる貧血発作について 小児科医長 田口 周馬

学校の朝礼中に気分が悪くなり、倒れ込んでしまう現象をいわゆる「貧血発作」として、皆さんご存知のことと思います。しかしこの現象は、医学的な貧血（簡略的にいう血が薄い）人になる発作的な現象では、実際はありません。

夏場に限らず、暑い環境下では、体の熱を逃がすために全身の血管が広がります。広がった分の血液量（水分量）が確保されていないと、全身の臓器をスムーズに機能させるための血液の流れが滞ってしまいます。全身の筋肉などへの血流不足から倦怠感を生じたり、特に頭への血液の流れが滞ってしまうと、気持ち悪さ（嘔気）や極端な場合は意識を失ってしまいます。また、冬場でも寒い場所から暖房のしっかり効いた場所へ移動すると同様の現象が生じることがあります。

多くの人は適正な（十分な）水分をとった状態で、自律神経の働きで血管の収縮・拡張を適正に調整することで、いわゆる「貧血発作」というような症状を起こさないように調節ができています。しかし中には十分な水分をとっていても、自律神経の調節が効かず、「貧血発作」や持続する倦怠感を生じる方がいます。大人では「自律神経失調症」という診断がついたり、小児では「起立性低血圧（起立性調節障害）」と診断がつくことがあります。小児の領域では、朝の起きにくさから遅刻が多い、運動時疲れやすいなどの症状を呈することもあります。そのような方に対しては、血管の収縮・拡張の程度を調整するお薬などを使用することで対応が可能な場合が少なくありません。

夏バテで片付くようなエピソードでも持続する場合は、お気軽に医療機関にご相談いただければ幸いです。



★ 総合相談窓口のご案内 ★

下記の日時に行いますので、お気軽にご利用ください。

日時：月～金曜日（祝日を除く）8時30分～17時15分

場所：診療棟正面ホール 相談コーナー

※当院職員にお声掛け願います。



★ 当院では、以下の職員を募集しております ★

募集職員：

常勤…保健師、助産師、看護師、薬剤師

非常勤…臨床検査技師、看護師、救急専従看護師、理学療法士、

外来アシスタント、メディカルヘルパー

お問い合わせ先：人事課（電話：0748-62-0234（代表））